

## ● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）5 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。

サンゲアン・アピ (Sangeang Api) インドネシア (図中A) 標高 1,949m

5月30日に爆発的噴火が発生し、噴煙が海拔15.2kmまで上昇した。31日には、より大規模な爆発的噴火が2回発生し、噴煙が13.7～15.2kmまで上昇した。降灰はスンバワ島の多くの地域に影響を及ぼし、サンゲアン・アピから半径8kmの範囲の4つの村から7,328人が避難した。また、報道によると5月31日には、ダーウィン国際空港を離発着する全ての便が欠航となった。

シベルチ (Shiveluch) ロシア (図中B) 標高 3,283m

シベルチでは、5月の期間を通して噴火が繰り返し発生した。

そのうち、26日の爆発的噴火では、噴煙が海拔10kmの高さまで上昇し、南南東に800km流れた。27日には、衛星画像により、海拔3～10kmの高さの噴煙が観測され、南に850km遠方に流れるのが観測された。衛星画像によると、溶岩ドーム上の熱異常が繰り返し観測されている。

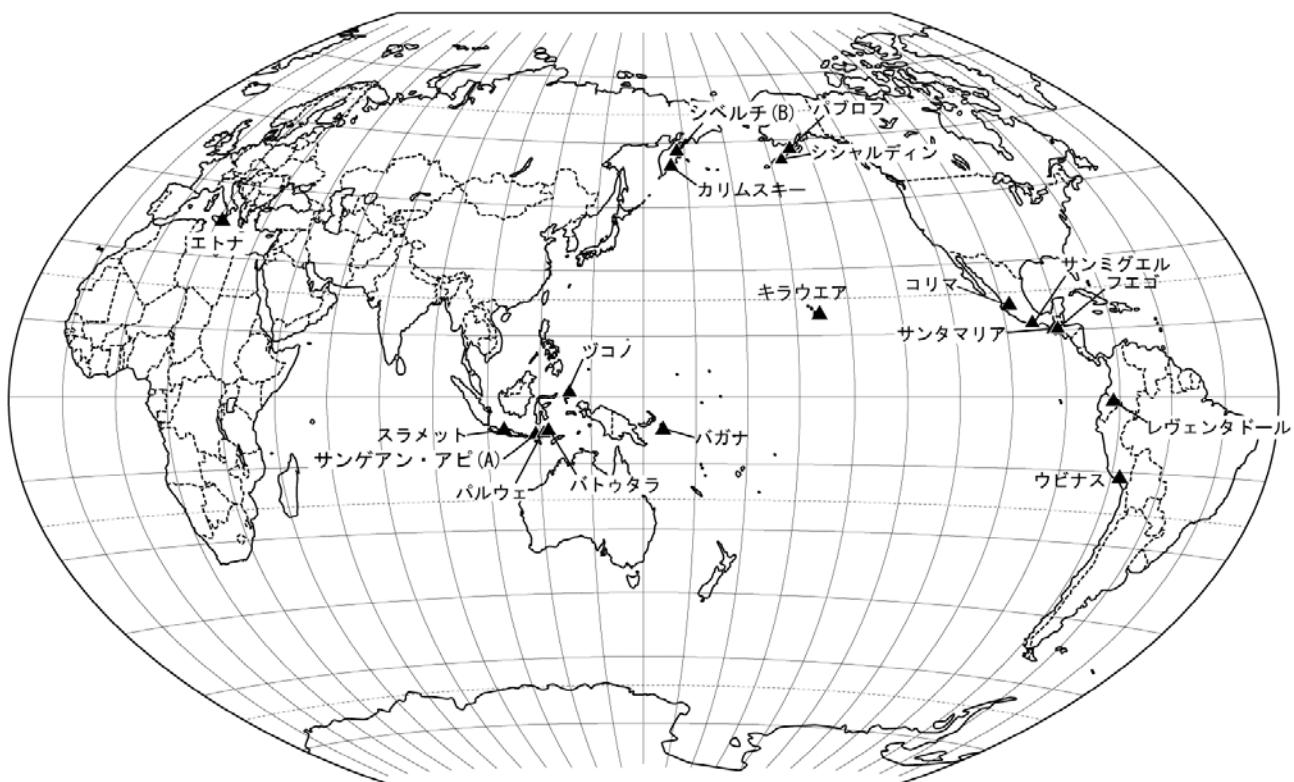


図 平成 26 年（2014 年）5 月に噴火した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([http://www.volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁「火山観測指針（参考編）」による。